

平成23年度 指定管理者施設管理評価シート

部 福祉部 課 高齢福祉課

施設名称 [24] 東京都台東区立くらまえ高齢者在宅サービスセンター

指定管理者の名称 社会福祉法人東京援護協会 指定期間 H21. 4. 1 ~ H26. 3. 31

1. 指定管理者の概要

(1) 業務内容	特別養護老人ホーム(3)、ケアハウス(1)、高齢者在宅サービスセンター(6)、居宅介護支援事業所(6)、地域包括支援センター(3)、訪問介護事業所(1)、身体障害者更生援護施設(3)、知的障害者援護施設(2)、福祉センター(2) 障害福祉施設(4)、隣保事業(2)、厚生施設ほか(5) 緊急一時保護事業(1)
(2) 類似施設の管理実績	高齢者在宅サービスセンター 5 施設
(3) 経営状況	[社会福祉事業会計] (22年度決算ベース) 歳入4,875,379,308円, 歳出4,788,293,245円, 収支差額87,086,063円

2. 施設の概要

(1) 所在地	台東区蔵前 2-11-7
(2) 設置目的	要支援、要介護高齢者のデイサービスの場として、その心身の健康保持及び生活の安定のための各種の介護サービスを提供する。
(3) 利用者	要支援・要介護と認定された高齢者
(4) 開館日・時間	月曜日から土曜日(年始1月1日～3日を除く) 8時30分～17時15分
(5) 規模	延べ床面積 3,937㎡のうち574㎡ SRC造地上7階地下2階のうち6階の一部
(6) 人員体制	13名 内訳…事務員(1)、相談員(1)、介護職員(常勤5、非常勤4)、看護職員(常勤1、非常勤1)

3. 事業(サービス提供)の概要

(1) 委託事業	①通所介護サービス(送迎・食事・生活介護・機能訓練・口腔ケア・栄養指導・レクリエーション、相談等)、②介護予防通所介護サービス(送迎・食事・運動器機能向上訓練・口腔ケア・栄養ケア、アクティビティ等)(定員30名)
(2) 自主事業	自主事業は行っていない

4. 予算決算の推移

		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
予算	委託料(21年度から)	31,560,000	17,955,000	12,728,000	10,000,000	9,973,000
	料金収入等	70,709,000	78,175,000	78,105,000	76,864,000	84,337,000
	管理経費	102,269,000	96,130,000	90,833,000	86,864,000	94,310,000
決算	委託料(21年度から)	23,212,410	17,955,000	12,728,000	10,000,000	9,943,050
	料金収入等	90,071,213	106,347,255	121,332,667	76,728,561	88,308,202
	管理経費	85,732,194	81,953,033	133,820,667	85,207,780	89,221,523
	収支	27,551,429	42,349,222	240,000	1,520,781	9,029,729

5. 施設の稼働状況等(活動指標)

指標名称	単位	19年度	20年度	21年度	22年度
開館日数	日	311	310	311	311
定員	人	30	30	30	30

6. 成果指標

指標名称	単位	目標値(24年度)	20年度	21年度	22年度
利用率	%	90.0	85.3	82.7	82.6
利用者数	人	8,400	7,929	7,720	7,703

**7. 平成22年度評価結果に対する現在までの取組み**

行事等を充実させながら、利用率の向上を図り利用料金の増収に努めていく。

**8. 評価項目**      3：協定等の水準を上回っている。      0：協定等の水準を下回っている。  
 2：協定等の水準どおりである。      -：評価対象外項目。  
 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。

評価の観点	評価項目			
(1) 事業の運営 平均 [2.1]	(a) 施設の目的達成	[2]	(f) 開館時間等の遵守	[2]
	(b) サービス水準	[3]	(g) 自主事業の成果	[-]
	(c) 職員配置	[2]	(h) 個人情報保護	[2]
	(d) 職員研修	[2]	(i) 緊急時対応マニュアル	[2]
	(e) 案内・接遇	[2]	(j) 警備・防犯体制	[2]
(2) 施設の維持管理 平均 [2.1]	(a) 建物保守・設備機器点検	[2]	(e) 危険箇所等の確認	[2]
	(b) 備品の管理	[2]	(f) 管理記録の作成・保存	[2]
	(c) 清掃・衛生管理	[2]	(g) 業務委託の事前承認	[2]
	(d) 施設の修繕	[3]	(h) 省エネ・省資源・環境配慮	[2]
(3) 利用者の満足度 平均 [2.0]	(a) 利用者・第三者機関の評価	[2]	(d) 利用しやすい環境整備	[2]
	(b) 苦情・要望への対応と報告	[2]	(e) 関係団体・地域との関わり	[2]
	(c) 利用者数の目標達成	[2]		
(4) 歳入歳出 平均 [2.0]	(a) 適正な予算執行	[2]	(c) 収支計画の達成	[2]
	(b) 経費削減のための取組み	[2]	(d) 利用料等の徴収・管理	[2]

**9. 評価**

S (水準以上) : 協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。  
 A (適正) : 協定等の水準を満たす管理が行われている。  
 B (一部課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。  
 C (課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。  
 D (水準未滿) : 協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評価	説明
(1) 事業の運営	A	外出事業を積極的に行い、サービス向上に努めている。また災害対策マニュアルの見直しを行い、施設全体の定期的な訓練を実施している。
(2) 施設の維持管理	A	各種保守点検及び清掃・衛生管理については、全体的に適切に対応されている。施設の老朽化に伴う修繕等の対応についても迅速に行われている。
(3) 利用者の満足度	A	利用率が昨年度とほぼ横ばいであり、利用率の向上が図れていないが、くらまえ作品展を地域住民にも参加を呼びかけて実施したり、外出行事を積極的に行い利用者にも好評を得ている。
(4) 歳入歳出	A	予算についても概ね適切に執行されている。区からの指定管理料も削減されており、今後は管理経費の削減に取り組んでいく必要がある。

**10. 総合評価**      良好   妥当   要努力   要改善   不適

**妥当**      くらまえ作品展や外出行事などを行い、利用者のニーズに応じたサービスを提供している。利用率はほぼ横ばいであるが、全般的に良好な事業運営を行っている。

**11. 平成23年度評価結果に対する今後の対応**

利用者のニーズに応じたサービスの提供に努め、施設の管理運営についても全体的に適切に実施されている。満足度調査でも高い評価を受けている一方、利用率は改善の余地があるため、更なる利用率向上の努力を継続していくとともに、管理経費の削減を図り、収支の改善に取り組んでいく。